

令和4年度 予算編成方針

令和3年10月15日



I 令和4年度予算編成方針のポイント

1

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に引き続き取り組みつつ、ウィズコロナ・アフターコロナ時代への対応に向けた施策を強化

- 引き続き、感染拡大防止対策を着実に実施しつつ、社会経済活動の回復を図る。
- 5つの基本政策等について、次なる時代のキーワードとなる「デジタル化」、「グリーン化」、「グローバル化」の観点から、施策をさらに進化。
- こうした取り組みを推進するため、「次世代施策推進枠」を創設。前年度予算から削減した額の3倍まで要求可とし、重点的な予算配分を実施（裁量的経常経費に△5%のシーリング）。

2

南海トラフ地震対策、防災・減災対策などのインフラ整備の推進

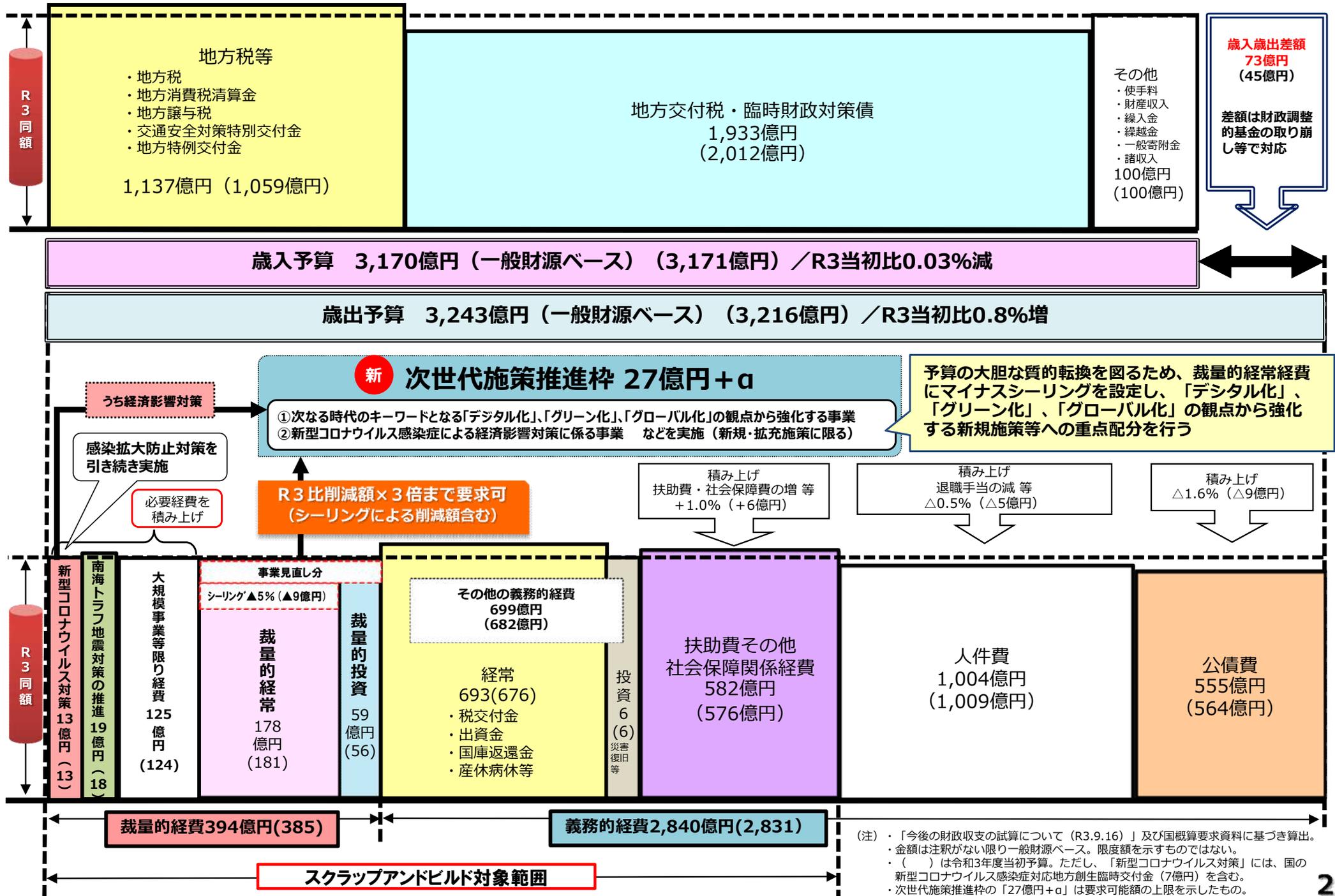
- 令和3年度中に策定予定の「第5期南海トラフ地震対策行動計画」に基づき、「命を守る」、「命をつなぐ」、「生活を立ち上げる」対策に必要な事業を推進。
- 国の5か年加速化対策等の有利な財源を最大限活用し、防災・減災対策を加速。
- 県民の安全・安心の確保と地域経済の活性化を目指すため、インフラの整備と有効活用を推進。

3

県勢浮揚と県財政の持続可能性の両立

- 新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、国の動向に留意し、本県への影響を見極めた上で確実に予算に反映。
- 県勢浮揚に必要な施策を着実に実行する一方、国の有利な財源の活用やスクラップアンドビルドの徹底により今後の財政運営の持続可能性を確保。

Ⅱ 予算要求フレームの考え方



Ⅲ 予算編成の主なスケジュール（予定）

令和3年 10月	○ <u>15日 予算編成方針通知</u>
11月	○ 12日 予算見積書提出期限
12月	○ <u>上旬 当初予算見積概要の公表</u>
令和4年 1月	○ 上旬 財政課長内示 ○ 中旬 総務部長協議、総務部長内示 ○ 下旬 知事査定
2月	○ <u>中旬 当初予算案記者発表</u>